

2012年10月14日(日)



なぜ「チンドンヤ」とパレード？

藤田嗣治の作品の中に「チンドンヤ」という絵画があります。藤田は絵を描くだけでなく、服や小物など身の回りの様々なものを自分で作りました。そこでアートスクール「いっしょにパレード チンドンヤ」では参加者が自分たちで衣装と楽器を作り、秋田のチンドンヤ「ダースコちんどん隊」と一緒に街を練り歩く活動を企画しました。

今回は秋田市雄和の国際教養大学の学生も子どもたちと一緒に活動しました。子どもたちのアイデアを尊重しながら制作のサポートをしてくれたり、英語を教えてくれたりしたので、制作を通して温かく自然な交流が生まれていました。



10万人おめでとう！

それぞれの衣装と楽器を作った後、楽器を鳴らす練習、声を出すタイミングを確認し、いよいよ近隣の商店街に練り出しました。この日はなんと新県立美術館の入館者が10万に達しようとしていました。「もうすぐ10万人に達します！」美術館に「き・て・ね〜！」と呼びかけました。

美術館に戻った後、ついに10万人目のお客さんが来館し、アートスクールの参加者、ダースコちんどん隊の方々、美術館スタッフなど皆でお祝いをしました。自分で作った衣装や楽器は特別な思いが生まれ、何度も楽器を鳴らしたり、記念撮影をしたり、大いに盛り上がりました。

活動を終えた後は、現県立美術館で藤田嗣治の「チンドンヤ」を鑑賞しました。

